



2021-22 年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ

Weekly Report Niigata



2021~22 年度
新潟ロータリークラブ会長

石橋 正利



新潟 RC 9月第 2例会 (2021.11.9) (Zoom 例会併催) No.3389

(1) ロータリーソング「四つのテスト」ピアノ演奏

(2) 石橋 正利会長挨拶

ご報告が遅れましたが、10月26日にご協力頂いたポリオ寄付は 53,600円 でした。ありがとうございます。

先週、配布された「ロータリーの友・11月号」から改めて、ポリオワクチンの記事を取り上げたいと思います。インドでポリオワクチン投与を体験したお二人のロータリアンの実践です。お一人は、八戸ロータリークラブの公認会計士をされている小林幹夫さんと東京小金井ロータリークラブの歯科医師をされている田中靖さんです。インドまで行かれて、幼児にポリオ生ワクチンを経口投与される場面の写真が載っていました。

そして、小林さんは、私たちへのメッセージとして次のように語っています。

「ロータリーに入っていないければ、このような活動は絶対にできなかった。私はそう思います。ロータリーに入って人生の選択肢が増えた。そう思っていたら、まずは行動しよう。そう言いたいです。」

田中さんは、次のようなメッセージを語っています。

「体験することで見える世界は変わる。これまでも卓話をする事が有りましたが、本で読んだり、人から聞いた知識を話しているだけでした。実体験を話す時はまた違う言葉が出てきますね。やはり現地に行き経験してみる大切さ。仲間と一緒に活動は大きな喜びを感じることもできますから。」

さらに、「今後、私たちロータリアンが身近にできる活動はありますか?」という問いかけに、田中さんは、こう答えています。

「僕は世界ポリオデーに何らかの行動をするのが良いと思います。END POLIO NOW のロゴ入りTシャツを着て、SNS に写真を掲載するだけでいい。それが大きなメッセージになります。」

この写真が END POLIO NOW のロゴ入りTシャツです。国際ロータリー公認の(株)オクソン社が販売されています。一着注文しました。次回ご紹介します。

では、ロータリアンが支えながら奈良ロータリークラブの皆さんが、END POLIO NOW のロゴ入りTシャツを着ながら取り組むポリオ根絶活動の映像をご覧ください。

新潟ロータリークラブの皆さんにも、活動の参考にしてみたい映像です。

他のロータリークラブの活動の事例も取り上げたいと思います。大阪難波ロータリークラブと多治見西ロータリークラブです。両クラブとも、世界ポリオデーの日に、地域で募金活動をしています。参考にしたいものです。

最後に、世界IA(インターアクト)週間の今、長野女子高等学校インターアクトクラブの活動映像をご覧ください。この映像の中では、「国際交流」と「社会福祉・ボランティア」と「地域交流」の3つの活動が紹介されています。新潟インターアクトクラブにも、活動の参考にしてみたい映像です。

(3) 新会員の紹介



キンビール(株)新潟支社

支社長 せんすい 泉水 謙二君

御紹介者 務台 昭彦君

所属委員会 親睦委員会

この度、伝統と歴史ある新潟ロータリークラブに入会させて頂く事になりました、キンビールの泉水と申します。

出身は横浜でございますが、31年前の新入社員の時に新潟に配属になりました。まだ右も左も分からない若輩者でしたが社内外の皆様にご支えられ社会人スタートをきった思い出の地であり、私にとって第二の故郷と言ってもおかしくありません。その思い出の地でまた仕事をさせて頂く事は感無量でございます。

キンビールの企業理念のミッションに「自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよこびをを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します」とあります。クラブの活動を通じて、新潟を元気に盛上げ、皆様のごよこびに貢献するよう頑張らせていただきますのでどうぞ宜しくお願い致します。

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(東海 幸一副委員長)

石本隆太郎君

米山奨学会寄付発表(織戸 潔副委員長)

岡村 健吉君

青少年育成基金寄付発表(小飯田 澄雄委員長)

本間 彊君 本多 晃君

小飯田澄雄君

(5) ニコニコボックス紹介(武田 眞二委員)

・務台 昭彦君 泉水さんの入会を心より歓迎してニコニコします。

・大澤 強君 キリンビール新潟支社長 泉水謙二さんの入会を歓迎します。ちなみに生まれた年は違いますが誕生日が私と一緒にビックリしました。

・敦井 栄一君 昨晚、良い事がありました。

(6) 幹事報告(内山 博之)

・例会終了後4階「雪の間」で新会員オリエンテーションを開催致します。

(7) 会員スピーチ

「人口減少に対する取り組みについて」
～地域として企業として～

秋山 博一プログラム委員長

(8) 11月 9日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
88	85	64	75.29

Zoom参加者 11名

コラム

小山 楯夫

寛容について

十八世紀英国の政治家であり、後にグラスゴー大学の総長にもなった文筆家エドモンド・パークの言葉です。

「悪魔は善人に対して、自分に協力してくれとは決して言いません。あなた方は黙ってみていてくれ、と言うだけです。そうすれば、この世は悪魔の思うままになります」。(ロータリーの皆さんは善人です。善人が黙ってはいけません。良いことは良い、悪ことは悪い、勇気をもって積極的に行動しましょう。)

ポール・ハリスもこう言っています「あいつに任せておけ」という寄生虫は退治しなければならぬ、ロータリーにもこういう寄生虫が随所に居る…。寛容という美辞麗句に酔って、ただ見せかけの親睦を楽しんでいけば、やがてロータリーは滅びるでしょう。自由と規律、平和な社会にとって、これは車の両輪です。

寛容とは、何も言わず相手の言いなりになることではありません。そうかと言って、相手の言分を聞いて、足して二で割るのが寛容なのでもありません。

それなら、寛容とは何か…それをお前の言葉で、然もお前が自分で出来る範囲のことを語って見よ…そう問いつめられたら、私はこう答えます。先ず自分自身が頼り無い不完全な人間であることを自覚する。その上で、利害得失の得失計算を離れ、良心の命ずる所に従う…。それから先は、来る者は拒まず、去る者は追わず、勇気をもって積極的に行動しましょう…。

不寛容の人に対して寛容になれるか??・・・

11月16日の例会予定

会員スピーチ

・農林中央金庫富山支店新潟県担当部長 山口和彦君

・大和ハウス工業(株)新潟支社長 深澤 康志君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>